



Cisco Unity Connection 2.x システムのインストールに必要なタスクの概要

次のハイレベル タスク リストを使用して、Cisco Unity Connection 2.x システムを正しくインストールします。このタスクは、『Cisco Unity Connection インストレーション ガイド』およびその他の Cisco Unity Connection ドキュメントに記載されている詳細な手順を参照します。これらのドキュメントに従って、正しくインストールを完了してください。

このタスク リストにより Cisco Unity Connection システムを完全にインストールできます。つまり、Connection サーバのインストールと設定から、Connection システムへのユーザ データおよび通話管理データの入力、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスや Connection データのバックアップなどのオプション機能のセットアップまで実行できます。

このリストは、次の 9 つのパートに分かれています。

- [パート 1 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定 \(P.1-2\)](#)
- [パート 2 : 管理者のワークステーションのセットアップ \(P.1-2\)](#)
- [パート 3 : 電話システム連動のセットアップ \(P.1-2\)](#)
- [パート 4 : システムへのユーザ データと通話管理データの入力 \(P.1-3\)](#)
- [パート 5 : システムの機能の設定 \(P.1-5\)](#)
- [パート 6 : VPIM ネットワーキングのセットアップ \(P.1-5\)](#)
- [パート 7 : ユーザのワークステーションのセットアップ \(P.1-6\)](#)
- [パート 8 : Cisco Unity Connection データのバックアップ \(P.1-6\)](#)
- [パート 9 : 教育 \(P.1-6\)](#)

タスクの中には、特定の環境だけに適用されるものがあります (その場合は注意書きがあります)。使用している環境に当てはまらないタスクは省略してください。

パート 1 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定

1. 次の要件を確認します。
 - a. Cisco Unity Connection 2.x システムのシステム要件。『Cisco Unity Connection 2.x システム要件』を参照してください。
 - b. 電話システム連動の要件。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能な、該当する Cisco Unity Connection のインテグレーション ガイドの「Requirements」の項を参照してください。
2. 必要に応じて、インストールする Connection の言語をダウンロードします。『Cisco Unity Connection リリースノート』を参照してください。
3. Cisco Unity Connection サーバをセットアップして設定します。このマニュアルの「オペレーティングシステムと Cisco Unity Connection のインストール」の章を参照してください。
4. 必要に応じて、Connection の言語をインストールします。『Cisco Unity Connection リリースノート』を参照してください。

パート 2 : 管理者のワークステーションのセットアップ

5. Cisco Unity Connection Web アプリケーションにアクセスするように、管理者のワークステーション上のブラウザを設定します。『Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド』の「管理者ワークステーションでのブラウザの設定」の章を参照してください。
6. Real-Time Monitoring Tool ソフトウェアをダウンロードしてインストールします。『Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection』の「Real-Time Monitoring Tool のインストールと設定」の章を参照してください。

パート 3 : 電話システム連動のセットアップ

7. Cisco Unity Connection と電話システムとの連動をセットアップします。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能な、該当する Cisco Unity Connection のインテグレーションガイドを参照してください。
8. Cisco Unity Connection とともに出荷されるソフトウェアをすべて一緒に、安全ですぐに利用できる場所に保管します。

パート 4 : システムへのユーザ データと通話管理データの入力

パート 4 の多くのタスクは、Cisco Unity Connection の管理を使用して実行します (Connection の管理へのログインおよびその使用方法については、『Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unity Connection Administration へのアクセスと使用方法」を参照してください)。

パート 4 のタスクは、記載されているように、次のマニュアルの章を参照します。

- Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド
 - Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド
9. Connection のライセンスを入手してインストールします。『システム アドミニストレーションガイド』の「ライセンスの管理」の章を参照してください。
 10. 次のような Cisco Unity Connection の概念をよく理解しておきます。
 - a. 通話管理。『システム アドミニストレーションガイド』の「通話管理の概要」および「通話管理計画の作成」の章を参照してください。
 - b. ユーザ、管理者アカウント、テンプレート、サービス クラス、および役割。『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「Cisco Unity Connection のユーザと連絡先の概要」および「ユーザ アカウントを追加する前に」の章を参照してください。
 11. システム計画を立てます。
 - a. 営業時間と営業外時間、および祝日を特定する。『システム アドミニストレーションガイド』の「スケジュールと祝日の管理」の章を参照してください。
 - b. 通話管理計画を立てる。『システム アドミニストレーションガイド』の「通話管理計画の作成」の章を参照してください。
 - c. デフォルトの規制テーブルを調べ、変更または新しいテーブルが必要かどうかを判断する。『システム アドミニストレーションガイド』の「規制テーブルの管理」の章にある「概要: デフォルト規制テーブル」の項を参照してください。
 - d. 電話アクセスおよび Web ツール アクセスのためのパスワード ポリシーとアカウント ロックアウト ポリシー、および Web ツール アクセスのためのログオン ポリシーを決定する。『システム アドミニストレーションガイド』の「パスワード、ログオン、およびロックアウトのポリシーの指定」の章を参照してください。
 - e. 必要な管理者アカウントの数とタイプ、および管理者アカウントに割り当てる役割を決定する。『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「ユーザ アカウントを追加する前に」の章を参照してください。
 - f. ユーザに対して有効にする機能を決定し、変更、または新しいテンプレートと COS が必要かどうかを判断する。『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「ユーザ アカウントを追加する前に」の章を参照してください。
 - g. デフォルトのメッセージ ストア割り当てを調べ、変更が必要かどうかを判断する。『システム アドミニストレーションガイド』の「メールボックス サイズ使用割当量の指定」の章を参照してください。
 - h. デフォルトのメッセージ エージング ポリシーを調べ、変更が必要かどうかを判断する。『システム アドミニストレーションガイド』の「メッセージ エージング ポリシーの変更」の章を参照してください。
 - i. デフォルトのシステム同報リストを調べ、変更または新しい同報リストが必要かどうかを判断する。『システム アドミニストレーションガイド』の「システム同報リストの管理」の章を参照してください。
 12. タスク 11. で調べた次のデフォルトについて、必要に応じて変更を行うかまたは新しいものを作成します。
 - a. スケジュール。『システム アドミニストレーションガイド』の「スケジュールと祝日の管理」の章を参照してください。

- b. 規制テーブル。『システム アドミニストレーションガイド』の「規制テーブルの管理」の章を参照してください。
 - c. パスワードポリシー、ロックアウトポリシー、およびログオンポリシー。『システム アドミニストレーションガイド』の「パスワード、ログオン、およびロックアウトのポリシーの指定」の章を参照してください。
 - d. サービスクラス。『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「サービスクラスの追加、修正、削除」の章を参照してください。
 - e. ユーザテンプレート。『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「ユーザテンプレートの追加、修正、削除」の章を参照してください。
 - f. メッセージエージングポリシー。『システム アドミニストレーションガイド』の「メッセージエージングポリシーの変更」の章を参照してください。
 - g. システム同報リスト。『システム アドミニストレーションガイド』の「システム同報リストの管理」の章を参照してください。
13. システムコンフィギュレーションをテストします。
- a. テストアカウントとして使用する Connection ユーザアカウントを追加する。『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「Cisco Unity Connection のアカウントの個別追加」の章を参照してください。
 - b. テストユーザとして電話を使用して、Cisco Unity Connection にログオンし、名前を録音し、電話パスワードを設定する。電話を切ります。
 - c. Cisco Unity Connection にコールし、テストユーザとして再度ログオンし、ユーザのパスワード、グリーティング、およびガイダンスの各バージョンが正しく動作することを確認する。電話で適切な機能をテストすることで、ユーザが正しいサービスクラスを継承したことを確認します。
 - d. テストユーザとして Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にログオンする。必要な COS 権限をテストユーザに与えた場合、Cisco PCA のホームページから適切な Web ツールを参照できることを確認します。
 - e. 必要に応じて、システムコンフィギュレーションを修正する。
14. 管理者アカウントを作成します。『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「Cisco Unity Connection のアカウントの個別追加」の章を参照してください。
15. ユーザアカウントを作成します。必要に応じて、『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「Cisco Unity Connection のアカウントの個別追加」、「ユーザアカウントを一括管理する」、または「Cisco Unified Communications Manager のユーザからの複数のユーザアカウントの作成」の章を参照してください。
16. 必要に応じて、個々のユーザアカウント設定をカスタマイズして機能を追加します。『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「ユーザアカウントの設定によって制御される機能の設定」および「サービスクラスによって制御される機能の設定」の章を参照してください。
17. 必要に応じて、システム同報リストに個々のユーザを加えます。『システム アドミニストレーションガイド』の「システム同報リストの管理」の章にある「システム同報リストのメンバーの管理」の項を参照してください。
18. タスク 11.b. で作成した通話管理計画を実装し、テストします。
- a. コールハンドラを作成する。『システム アドミニストレーションガイド』の「コールハンドラの管理」の章を参照してください。
 - b. ディレクトリハンドラの設定を指定する。『システム アドミニストレーションガイド』の「ディレクトリハンドラの管理」の章を参照してください。
 - c. インタビューハンドラを作成する。『システム アドミニストレーションガイド』の「インタビューハンドラの管理」の章を参照してください。
 - d. 着信サービスをセットアップする。『システム アドミニストレーションガイド』の「着信サービスの管理」の章を参照してください。

パート5：システムの機能の設定

19. 任意のユーザが *Cisco Unity Web* ツールにアクセスする場合、または *IMAP* 電子メールクライアントを使用して *Connection* ボイス メッセージにアクセスする場合： *Connection* への *Cisco Personal Communications Assistant (PCA)* アクセスおよび *IMAP* アクセスを保護します。『システム アドミニストレーションガイド』の「*Cisco PCA* および *IMAP* 電子メール クライアントから *Cisco Unity Connection* へのアクセスの保護」の章を参照してください。
20. 任意のユーザが *Cisco Unified MeetingPlace Express* にアクセスする場合： *Cisco Unified MeetingPlace Express* との連動を設定したことを確認します。『システム アドミニストレーションガイド』の「*Cisco Unified MeetingPlace Express* との連動」の章を参照してください。
21. ユーザが *Text To Speech (TTS; テキスト/スピーチ)* を使用して *Exchange* 電子メールにアクセスする場合： *TTS* を使用した *Exchange* 電子メールへのアクセスを設定したことを確認します。『システム アドミニストレーションガイド』の「*Exchange* 電子メールへの *TTS* を使用したアクセスの設定」の章を参照してください。
22. ユーザが *Exchange* カレンダーおよび連絡先情報に基づいてパーソナル着信転送ルールを作成できる場合： *Exchange* カレンダーおよび連絡先へのアクセスを設定したことを確認します。『システム アドミニストレーションガイド』の「パーソナル着信転送ルールで使用するための *Exchange* 予定表と連絡先へのアクセスの設定」の章を参照してください。
23. ユーザが *SMTP* メッセージの到着通知デバイスを使用する場合： ユーザのメッセージ通知をセットアップして有効にしたことを確認します。『システム アドミニストレーションガイド』の「到着通知 *SMTP* メッセージの設定」の章を参照してください。
24. 任意のユーザが *Cisco Unity Connection Phone View* にアクセスする場合： *Cisco Unified Communications Manager* を *Phone View* 用に設定したこと、および *Cisco Unity Connection* の管理で電話システムの *Phone View* を有効にしたことを確認します。『システム アドミニストレーションガイド』の「*Phone View* の設定」の章を参照してください。
25. 任意のユーザが *Cisco Unified Personal Communicator* にアクセスする場合： 該当するサーバを設定し、クライアントアプリケーションをセットアップしたことを確認します。『ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「サービス クラスによって制御される機能の設定」の章にある「*Cisco Unified Personal Communicator* からのボイス メッセージへのアクセス」の項を参照してください。
26. 任意の管理者やユーザが *Cisco Unity Connection* のブロードキャスト管理機能にアクセスする場合： この機能をセットアップしたことを確認します。『システム アドミニストレーションガイド』の「ブロードキャストメッセージ機能の設定」の章を参照してください。
27. 任意の管理者やユーザが *Cisco Unity Connection* のグリーティング管理機能にアクセスし、電話機でグリーティングを管理する必要がある場合： この機能をセットアップします。『システム アドミニストレーションガイド』の「録音済みのグリーティングと名前の録音の管理」の章にある「*Cisco Unity* グリーティング管理の設定」の項を参照してください。

パート6：VPIM ネットワーキングのセットアップ

28. ユーザが *VPIM* ネットワーキングを使用してリモートのボイス メッセージ システムにメッセージを送信する場合： *VPIM* ネットワーキングをセットアップします。『システム アドミニストレーションガイド』の「*VPIM* ネットワークの使用法」の章を参照してください。

パート7：ユーザのワークステーションのセットアップ

パート7のタスクは、『Cisco Unity Connection ユーザワークステーションセットアップガイド』の章を参照します。

29. Cisco PCA へのアクセスを設定します。「Cisco Personal Communications Assistant へのアクセスの設定」の章を参照してください。
30. Media Master の再生および録音デバイスをセットアップします。「Media Master の再生デバイスと録音デバイスの設定」の章を参照してください。
31. Connection ボイス メッセージにアクセスするように IMAP 電子メール アカウントを設定します。「Cisco Unity Connection のボイス メッセージにアクセスするための電子メール アカウントの設定」の章を参照してください。
32. ユーザに対して有効にした Connection 機能にユーザがアクセスして、その機能を使用できることを確認します。

パート8：Cisco Unity Connection データのバックアップ

33. 『Disaster Recovery System アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection』を参照してください。



(注) サードパーティ製のバックアップアプリケーションはサポートされていません。

パート9：教育

34. ユーザ、オペレータ、およびサポート デスク担当者に Cisco Unity Connection システムの使用方を教育します。『ユーザワークステーションセットアップガイド』の「ユーザのオリエンテーション」および「オペレータとサポート デスクのオリエンテーション」の章を参照してください。